

# 玉作りのメッカ・出雲国

全国最大級の「玉」生産地



出雲最大の観光地の一つに、出雲郡玉湯町の玉湯温泉があります。その温泉街を望む小高い丘に、「玉作史跡公園」があります。

「玉」はその妖しい輝きから、古来よりお祭りなどに用いられました。古墳時代になると、大王から貴族に「玉」を贈る「権威のシンボル」としての役割を果たしていたこともあり、この玉を作ることを「玉作」または「玉作り」と言い、古代の玉造は、全国における玉作のメッカでした。玉造で玉作関係の遺物がたくさん拾えることは江戸時代から有名で、大正一年（一九一〇）に国指定史跡となり、大正一四年（一九二五）には全国でも初めて、玉作に関する考古学的調査が行われました。発掘調査は昭和四四年（一九六九）から行われ、玉造史跡公園にはその成果が保存、公開されています。玉造一帯は、現在でも玉作に関連の深い遺跡や古墳、神社、地名などが数多く残されています。この一帯こそが、全国最大級の玉作地帯だったので。



日本最大の玉作地帯・玉湯川流域  
現在の温泉街を中心として玉作遺跡が集中している。温泉街より手前が史跡公園。

玉作り工房から見つかった原石・未成品  
(松江市・大角山遺跡、安来市・大原遺跡：5世紀)

## 最後まで残った玉作り

出雲は、古代から玉の生産地として栄えた所です。現在発見されている古い玉作跡は松江市の西川津遺跡で、弥生時代前期の玉作遺物が見つかっています。古墳時代中期までは、出雲は全国でも有力な玉生産地の一つにすぎませんでした。しかし他地域の玉作が衰える古墳時代後期にはいつて出雲の玉作は最盛期を迎え、奈良・平安時代には、もはや出雲でしか玉作は行われなくなり、なげ出雲だけが玉生産地として残ったのか、その理由はまだわかっていませんが、ここには何か大きな謎があります。



全国の産地別・時代別の玉作遺跡

## 日本でもっとも玉作遺跡が集中する花仙山周辺

玉作遺跡は八束郡玉湯町玉湯川、松江市忌部川付近に集中しています。これはこの両河川の間、玉の原石（めのつ、碧玉）の産地である花仙山があることが最大の原因です。このあたりは、全国でも例のないほど玉作遺跡が集中している場所なのです。そのほか安来平野などでも、近年玉作遺跡が数多く見つかっていますが、原石産地が付近になく、花仙山から原石を運んで玉作を行っていたと考えられています。



玉作工房内に持ち込まれた碧玉原石  
(松江市・福富1遺跡出土：5～6世紀)



玉作工房内に散らばる未成品  
(安来市・大原遺跡出土：5世紀)



出雲の玉作遺跡の分布

## 出雲の玉はどこへ行った？

出雲でたくさん玉が作られたことは、発見される遺跡や遺物から明らかです。しかし、玉作工房からは膨大な数の未成品が見つかっているにもかかわらず、不思議なことに完成品は一つも出土していません。近くの古墳から勾玉や管玉が出土していますが、たいした数ではなく、全国的に見ると、むしろ出雲は少ないほうです。玉作工房で作られた玉の完成品は、いったいどこへ行ったのでしょうか？

### 文献に書かれた出雲玉作

『出雲国風土記』や『古語拾遺』などの奈良・平安時代に書かれた本には、出雲玉作についての記述が見られ、しばしば忌部という言葉が登場します。忌部は今でも松江市に地名として残っていますが、もともとは朝廷のお祭りの道具を作ることを職業としている、畿内に住む有力豪族の姓でした。この忌部氏は玉の生産にも深く関わっており、出雲の忌部は、当時の朝廷と深いつながりがあったことをあらわしていると考えられます。

### 中央へ運ばれた玉

このように推測すると、出雲で作られた玉は「忌部氏」を通じて中央の朝廷に運ばれ、そこから各地方へ貴重な宝として配られたようです。近年では玉の石材を理化学的に分析することで、各地で出土する玉のうち、いくつかは出雲産であることがわかり、出雲の玉が各地へ配られたことが証明されています。



王者を飾った出雲の「玉」  
(京都府園部町・園部垣内古墳出土)  
畿内の王クラスの古墳からは、おびただしい数の玉が出土する。近年、理化学的分析により、垣内古墳の玉のうち勾玉と矢じりの一部が花仙山産であることがわかった。

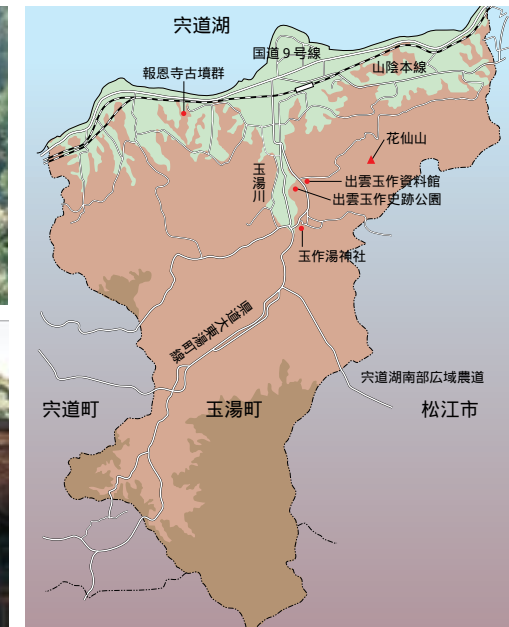
### 報恩寺古墳群

(玉湯町湯町)  
真言宗報恩寺の裏山にある古墳群で、6基からなる。このうち4号墳は全長約50mの前方後円墳で、このあたりでは最大級の大きさ。5世紀代の古墳で、玉作集団を支配した豪族の墓と考えられている。



### 玉湯神社

(玉湯町玉造)  
『出雲国風土記』にも記載のある神社。玉作の祖・榊明命神などを祀る。境内には付近から出土し奉納された玉作出土品の収蔵庫がある。



公園内から見つかった工房跡の1つで、竪穴住居の中から多数の玉類未成品が見つかった。現在は屋根でおおっており、発掘当時の様子が再現されている。



出雲玉作資料館 (玉湯町玉造)  
公園東側の丘の上にある、全国唯一の玉専門資料館。玉作公園内出土の遺物をはじめ、県内外の玉作関係遺物がわかりやすく展示されている。